

会 議 録

会議の名称		令和6年度第3回洞峰学園コミュニティ・スクール協議会		
開催日時		令和7年2月20日（木）開会 14:30 閉会 16:40		
開催場所		つくば市立東小学校コンピューター室		
事務局（担当課）		教育局生涯学習推進課		
出席者	委員	樋口 直宏（会長）、竹内 崇（副会長） 加藤 千里、鈴木 宏之、柳沢 逸夫、木村 敦至、 高野 和直、長久 保翠、伊藤 哲司 谷田部東中学校：教頭 坂 匡浩、酒井 洋一 教務主任 清水 研志 小野川小学校：校長 大高 純子、教頭 芳賀 千重 教務主任 村田 晴美 二の宮小学校：校長 高木 素子、教頭 宮田 路子 教務主任 小松 勝之 東小学校：校長 横田 康浩、教頭 坂入 敏江 教務主任 井上 宏実		
	その他	谷田部東中学校：教頭 酒井 洋一		
	事務局	生涯学習推進課参事：山口 健次 生涯学習推進課係長：飯島 遊 社会教育主事：村上 和宏 地域連携教育指導員：酒井 和宏		
公開・非公開の別		<input type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input checked="" type="checkbox"/> 一部公開	傍聴者数	0人
非公開の場合はその理由		つくば市情報公開条例第5条第1項（個人情報）に該当する情報が含まれるため		
議題		「発達段階をふまえた、次年度の評価項目について」		
会議録署名人		確定年月日	年	月 日

会議 次第	1	開 会
	2	挨拶
	3	授業参観
	4	前回の議事の確認
	5	協議 (1) 学校評価について (2) 熟議テーマ「発達段階をふまえた、次年度の評価項目について」
	6	その他 ・来年度の家庭教育学級について
	7	閉 会

<審議内容>

- 1 開 会
 - 2 挨拶
 - 3 授業参観 (30 分間)
 - 4 前回の議事の確認
 - 5 協 議
- 第3回 コミュニティ・スクール協議会の話合いの柱
- (1) 学校評価アンケートの結果について (共有)
 - (2) 発達段階をふまえた、次年度の評価項目について (熟議内容)
 - (3) 話合いや発表から得られた情報をもとにしたまとめ等
- ・各グループでの熟議 15:25～15:55 (30 分間)
 - ・グループごとの発表 15:55～
- ① 1 班
 - ・もう少しシンプルなものへ「将来なりたいものややりたいことがある」へ
 - ・「最後まで聞く」を入れるとよいのではないか
 - ・自己有用感という言葉自体が難しい→「役に立っている」などへ
 - ② 2 班
 - ・「なりたい自分像をもっているか」などを聞いた方がよいのではないか
 - ・「相手の話をよく聞いていますか」をベースにし、段階的に質問していくとよい
 - ③ 3 班
 - ・「やりたいことがある」
 - ・「友達の意見を大切にしている」
 - ・「ありがとうやいいね等を伝え合っている」
 - ④ 4 班
 - ・集計の仕方、色の付け方などを統一しておくと比較しやすい
(小野川小が見やすいのでは)
 - ・小中一貫の評価が低いので、保護者などへの周知を工夫する必要がある
 - ⑤ 5 班

- ・低学年でも分かるよう、表現を変更していくことが必要
- ・教師→先生へ、意見→考えへ
「先生の話をよく聞くことができる」
「友達の考えに耳を傾けることができる」
- ・「自己有用感」という言葉について説明してあげるとよい

6 その他

- ① 来年度家庭教育学級モデル校事業について
(つくば市生涯学習推進課 山口参事)

【質疑応答】

- ・アンケートが少しわかりにくい
→つくば市5つの柱を説明しながらアンケートを出していく
- ・費用について
→学園や学校単位での実施となるため、費用については学園で調整が必要

【部会の設置について】→委員承認

今年度の洞峰学園コミュニティ・スクール協議会は以上で閉会となります。来年度の期日、会場等は後日連絡させていただきます。委員の選出に関しては、後日、御連絡をさせていただきます。

- ② 令和7年度当初予算「地域と学校の連携事業」について

7 閉会

本日の協議の内容は以上になります。なお本日の会議の様子や写真について、つくば市ホームページへの掲載を予定しています。（委員承認）

令和6年度第3回洞峰学園コミュニティ・スクール協議会

日時：令和7年2月20日（木）

14：30～

場所：東小学校 コンピュータ室

次 第

1 開 会

2 挨拶

3 授業参観

4 前回の議事の確認

5 協 議

(1) 学校評価について

(2) 熟議 テーマ「発達段階をふまえた、次年度の評価項目について」

6 その他

・ 来年度の家庭教育学級について

7 閉 会

会 議 録

会議の名称		令和6年度第2回洞峰学園コミュニティ・スクール協議会		
開催日時		令和6年10月4日（金）開会 14:30 閉会 16:40		
開催場所		つくば市立小野川小学校図書室		
事務局（担当課）		教育局生涯学習推進課		
出席者	委員	樋口 直宏（会長）、竹内 崇（副会長） 加藤 千里、鈴木 宏之、柳沢 逸夫、木村 敦至 高野 和直、長久保 翠、村岡 敬子、伊藤 哲司 谷田部東中学校：校長 永井 英夫 教頭 坂 匡浩、 教務主任 清水 研志 小野川小学校：校長 大高 純子、教頭 芳賀 千重 教務主任 村田 晴美 二の宮小学校：校長 高木 素子 教頭 宮田 路子 教務主任 小松 勝之 東小学校：校長 横田 康浩 教務主任 井上 宏実		
	その他	谷田部東中学校：教頭 酒井 洋一		
	事務局	生涯学習推進課参事：山口 健次 生涯学習推進課係長：飯島 遊 社会教育主事：村上 和宏 地域連携教育指導員：酒井 和宏		
公開・非公開の別		<input type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input checked="" type="checkbox"/> 一部公開	傍聴者数	0人
非公開の場合はその理由		つくば市情報公開条例第5条第1項（個人情報）に該当する情報が含まれるため		

議題	「学校関係者評価の結果から、学園で育てたい児童生徒について」		
会議録署名人		確定年月日	年 月 日
会 議 次 第	1 開 会		
	2 挨拶		
	3 授業参観		
	4 前回の議事の確認		
	5 協議		
	・熟議テーマ「学校関係者評価の結果から、学園で育てたい児童生徒について」		
	6 その他		
	7 閉 会		

<p><審議内容></p> <p>1 開 会</p> <p>2 挨拶</p> <p>3 授業参観 (30 分間)</p> <p>4 前回の議事の確認</p> <p>5 協 議</p> <p>第2回 コミュニティ・スクール協議会の話合いの柱</p> <p>(1) 学校関係者評価の結果から見える、学園で育てたい児童生徒に係るキーワード及び理由</p> <p>(2) 学園で育てたい児童生徒像を目指すスローガン等 (熟議内容)</p> <p>(3) 話合いや発表から得られた情報をもとにした、まとめ等</p> <p>・各グループでの熟議 15:25～16:25 (60 分間)</p> <p>・グループごとの発表 16:25～</p> <p>① 1 班</p> <p>・自己有用感や地域性をキーワードとした話合い</p> <p>・各学校の児童の雰囲気の違い、個性について</p> <p>・各学校が取り組んでいるものの「人材」「よさ」を地域学校協働活動推進員に支援要請していく。</p> <p>② 2 班</p> <p>・自己有用感、立ち直る力、我慢する力の育成についての話合い</p> <p>・教師、児童生徒ともに人の意見に耳を傾ける力、ともに成長していくことの必要性</p> <p>③ 3 班</p> <p>・自己有用感に焦点をおいた話合い。学園共通の質問項目の検討の必要性。小学生と中学生の捉え方の違い。</p> <p>→小学生には「夢を持っていますか」中学生には「夢について考えている」や「夢に向かって努力していますか」のような聞き方の変更が必要</p>
--

- ・「先生の話や友達の見解に耳を傾け、素直に助言を受け入れることができる」の項目は再検討の必要性あり。
- ・他人と自分との比較により、自己有用感が低下する可能性あり
アンケートをとる際の教師の説明の仕方や、日ごろの認め方の工夫が必要
- ・学園目標「夢や希望をもち、未来に向かってたくましく生きる児童・生徒の育成」に到達するための手立てを考えることが大切

④ 4班

- ・学園の共通の質問内容についての話し合い
- ・素直に助言を受け入れているかいないかの結果に関し、教師と児童の差異
- ・人とのコミュニケーション不足が考えられる。家族でのコミュニケーションがさらに必要ではないか
- ・中学校では異年齢で関われる部活動、小学校では異年齢で遊ぶ時間が大事
そのような時間を意図的に計画立ててとることも大事。異学年でけんかをするのも大事な経験
- ・大人がもっと子どもを信じる環境の重要性

⑤ 5班

- ・共通項目「先生の話や友達の見解に耳を傾け、素直に助言を受け入れることができる」について、良い点を伸ばしていけるとよい
- ・夢や希望についての捉え方が、子どもと親にズレ
親は子どもの頑張りを承認していくことが大切
- ・最近の主流はタブレット学習。しかし、親は把握しておらず、子どもが家でタブレット学習をしている際、タブレットで遊んでいるのだと勘違いして指導してしまうことがある。子どもを信じたい
- ・他人とではなく、昨日の自分、過去の自分と比較することが大切
- ・子どもたちに自信をもたせ、十分役に立っていることを学校でも家庭でも、褒めて認める。PTAからの呼びかけが必要

【質疑応答】

特になし

6 その他

(伊藤委員)

- ・「お子さんは、夢や希望の実現に向けて努力している」の質問は、1つの質問項目に2つの質問が入っており非常に難しい。「夢や希望をもっているか」と「努力しているか」は別物である。「お子さんは教師の話や友達の見解に耳を傾け、素直に助言を受け入れることができる」の質問でも、「話に耳を傾けているか」と「素直に助言を受け入れているか」は違う。何年か継続してデータを見ていかななくてはいけないため、簡単には変えられないかもしれないが、学年によって考え方が違うので配慮が必要。データをとることは意味があるので、配慮しながら継続していく。
- ・洞峰学園のPTA組織「洞峰クラブ」を8月に実施。次回は11月30日なので、可能なら学校側も参加してほしい

(樋口座長)

- ・共通の項目を少し増やしていきながら、学園で聞きたいこと、学校で聞きたいことを半分ぐらいにしていけたらよいのではないか。

(永井委員)

- ・先ほどの話で、小野川小だけタイプが違くと話題にでたが、中学校に入ってくるとそれぞれの小学校のよさをうまい具合に出し、3校の良さがブレンドされて、谷田部東中の良さとなっている。中学校としては、どの小学校出身だからとかは、あまり気にしていない。

(事務局)

次回のコミュニティ・スクール協議会は令和7年2月20日(木)、会場は東小学校を予定しています。よろしくお願ひします。

7 閉会

本日の協議の内容は以上になります。なお本日の会議の様子や写真について、つくば市ホームページへの掲載を予定しています。(委員、承認)

コミュニティ・スクール協議会(推進会議)に関するアンケート(学園名:) どちらかに○(地域住民・教職員)

項目	あてはまる部分にチェック(○)を入れてください	あてはまる	どちらかという あてはまる	どちらかという あてはまらない	あてはまらない	判断できない
1	学校運営の基本方針の承認にあたり、協議会委員(推進会議の構成員)による議論を行う					
2	学校運営に関して率直な意見を述べる機会がある					
3	教職員の任用について提案や意見を述べる機会がある					
4	地域住民側からの意見や提案が持ち込まれることがある					
5	子どもの意見を反映させる機会や仕組みがある					
6	協議会(推進会議)内は、忌憚なく意見を出し合える雰囲気がある					
7	学校、家庭、地域全体で育てたい子ども像が共有されている					
8	校長等、教職員の異動に関わらず、継続して議論ができる体制がある					
9	協議会(推進会議)で議論すべき課題の選定、議論の企画段階から関わることもある					
10	学校側の提案事項を承認するだけでなく、より良い学校運営のために建設的に議論することがある					
11	協議会(推進会議)で決定して、実施した取組に対して、振り返りや内省を行う時間がある					
12	協議された事項の実行にあたり、学校長は期待される役割を果たしている					
13	議論の結果、各主体(学校・保護者・地域の大人等)が実行すべきこと・役割分担が明確になっている					
14	学校の問題や悩みは、協議会委員(推進会議の構成員)の中で共有されている					
15	協議会(推進会議)での協議内容について、十分な情報発信が行われている					
16	当事者意識をもち、学校運営に参画したと感ずることができる					
17	協議会(推進会議)への参加回数をご記入ください					回
18	その他 ご意見があればご自由に記入してください(裏面もご使用ください)					